



2025年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月10日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ戦略企画 (氏名) 長谷川 孝 TEL 042-750-8588
定時株主総会開催予定日 2025年8月23日 配当支払開始予定日 2025年8月25日
有価証券報告書提出予定日 2025年8月15日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期の連結業績（2024年6月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期	119,205	6.8	3,448	13.0	3,903	13.2	2,101	23.2
2024年5月期	111,657	9.6	3,051	18.4	3,448	13.4	1,705	△38.4

(注) 包括利益 2025年5月期 2,206百万円 (9.8%) 2024年5月期 2,009百万円 (△33.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年5月期	108.54	—	10.8	7.0	2.9
2024年5月期	86.26	—	8.7	6.6	2.7

(参考) 持分法投資損益 2025年5月期 △10百万円 2024年5月期 △16百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期	57,380	18,867	32.5	1,061.56
2024年5月期	54,542	20,507	37.1	1,023.60

(参考) 自己資本 2025年5月期 18,626百万円 2024年5月期 20,236百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年5月期	3,062	△2,510	△1,118	6,628
2024年5月期	4,084	△2,411	△100	7,180

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00	494	29.0	2.5
2025年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00	438	23.0	2.4
2026年5月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		23.9	

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	6.5	3,800	10.2	4,000	2.5	2,200	4.7	125.38

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。
詳細は、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年5月期	20,547,413株	2024年5月期	20,547,413株
2025年5月期	3,000,708株	2024年5月期	777,287株
2025年5月期	19,357,658株	2024年5月期	19,767,858株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項に関する注記)	13
(連結貸借対照表に関する注記)	14
(連結損益計算書に関する注記)	14
(連結包括利益計算書に関する注記)	15
(セグメント情報等の注記)	16
(1株当たり情報の注記)	20
(重要な後発事象の注記)	20

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、経営理念に基づく当社グループの事業活動を示すミッションとして「多くの人々に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、リユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の形成に貢献するとともに、全従業員が自信と情熱を持ち、安心して働き、成長できる会社になることを目指します。

当社グループは2028年5月期を最終年度とする中期経営方針において、グループの強みである人財育成やサステナビリティへの取組などの普遍的な価値を土台とし、「深化領域」と位置付ける国内ブックオフ事業で、認知度の高さを活用して安定した収益を獲得するとともに、「探索領域」と位置付けるプレミアムサービス事業、海外事業や新たな事業に対して投資原資・ノウハウを投入し、経験豊富な人財の輩出によりグループの事業規模拡大と利益成長を進めていくことを定めました。

当連結会計年度においては、各事業において積極出店を継続し、事業拡大を進めながら、国内ブックオフ事業において再発防止に対する取組を進めました。全ての事業において、売上高は前連結会計年度を上回り、売上高119,205百万円（前連結会計年度比6.8%増）となりました。各事業における人件費の増加の一方で、国内ブックオフ事業において増益となったことにより、経常利益3,903百万円（前連結会計年度比13.2%増）、前連結会計年度に特別損失に計上した特別調査委費用等引当金繰入額の剥落の一方で、国内ブックオフ事業における店舗の減損損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益2,101百万円（前連結会計年度比23.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（国内ブックオフ事業）

当連結会計年度において、BOOKOFF SUPER BAZAAR 2店舗（草加セーモンプラザ店、イトーヨーカドー八王子店）、BOOKOFF 5店舗（じゃんぼスクエア香芝店、イトーヨーカドー東村山店、チャチャタウン小倉店、リヴィン田無店、仙台クリスロード店）を出店しました。

直営既存店においてトレーディングカード・ホビー、アパレル、書籍、貴金属・時計・ブランドバッグ等の売上高が前連結会計年度を上回ったことで、売上高104,309百万円（前連結会計年度比5.3%増）となり、セグメント利益5,347百万円（前連結会計年度比18.7%増）となりました。

（プレミアムサービス事業）

当連結会計年度において、hugall 2店舗（大宮高島屋店、横浜高島屋店）、BOOKOFF総合買取窓口 4店舗（桜新町駅前店、田園調布店、茗荷谷店、目黒店）、Rehello 2店舗（吉祥寺店、清澄白河店）を出店しました。

前期及び当期の新規出店等により仕入高が前連結会計年度を上回ったことにより、売上高7,177百万円（前連結会計年度比6.3%増）となりました。一方で、新店において仕入高が想定を下回ったことやアパレル商品の販売効率の低下、事業成長に向けた人員拡充を進めたこと等により、セグメント利益44百万円（前連結会計年度比89.3%減）となりました。

（海外事業）

当連結会計年度において、アメリカ合衆国にBOOKOFF 3店舗（Massapequa店、Monterey Park店、Phoenix店）、マレーシア国にJalan Jalan Japan 4店舗（Berjaya Mega Mall店、The Mines Mall店、AEON BiG Taman Falim店、Star Avenue店）、カザフスタン共和国にJalan Jalan Japan 4店舗（Aksai店、Sayahat店、Vodnik Alatau店、Alatau Plaza店）を出店しました。

アメリカ合衆国内の「BOOKOFF」、マレーシア国・カザフスタン共和国内の「Jalan Jalan Japan」それぞれにおいて新規出店が寄与し、売上高が前連結会計年度を上回ったことで、売上高6,176百万円（前連結会計年度比32.3%増）となりました。一方で、マレーシア国の既存店舗における客数の減少やカザフスタン共和国における収益化の遅れ等により、セグメント利益694百万円（前連結会計年度比4.1%減）となりました。

（その他）

当連結会計年度において、Japan TCG Center 2店舗（那覇沖映通り店、蒲田駅東口店）を出店しました。

＜出退店推移＞

（単位：店）

			2024年5月期		2025年5月期	
			出店	退店	出店	退店
出退店合計	グループ	国内ブックオフ事業	(注1) 13	10	7	18
		プレミアムサービス事業	(注2) 31	—	8	—
		海外事業	3	—	11	—
		戦略事業領域	—	—	2	—
		合計	47	10	28	18
	FC加盟店		2	(注3) 5	3	1
期末店舗数	グループ	国内ブックオフ事業	387		376	
		プレミアムサービス事業	45		53	
		海外事業	24		35	
		戦略事業領域	4		6	
		合計	460		470	
	FC加盟店		374		376	

（注1）フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 3店舗を含んでおります。

（注2）2023年5月期末まで店舗数に含んでいなかった「hugall」（2023年6月1日時点15店舗）と「aidect」（同12店舗）は、当社グループにおける重要度が増したため、当期出店として加算しております。

（注3）当社グループに譲渡したBOOKOFF 3店舗を含んでおります。

＜自己資本比率、時価ベースの自己資本比率、債務償還年数、インタレスト・カバレッジ・レシオ、総資産経常利益率（ROA）、経常利益＞

	2024年5月期	2025年5月期
自己資本比率（％）	37.1	32.5
時価ベースの自己資本比率（％）	56.0	44.1
債務償還年数（年）	4.7	7.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	23.3	12.6
総資産経常利益率（ROA）（％）	6.6	7.0
経常利益（百万円）	3,448	3,903

（注） 自己資本比率（％）：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率（％）：株式時価総額/総資産

株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

債務償還年数（年）：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

有利子負債は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、社債、長期借入金、長期末払金の合計としております。

インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

総資産経常利益率（ROA）（％）：経常利益/期首・期末平均総資産

次期の見通し

当社グループが想定する2026年5月期は、国内ブックオフ事業を中心にBOOKOFF等店舗と取扱う商材、サービスをより一層深化させるとともに、プレミアムサービス事業と海外事業を中心に新たなお客様層や市場への更なる探索を推進することで、事業環境の変化に強いポートフォリオを構築し、持続可能な事業成長を実現し事業ミッションである「多くの人々に楽しく豊かな生活を提供する」の実現に向け邁進してまいります。

このような状況を踏まえて、2026年5月期は、各事業における深化と探索を推進するため、引き続き新規出店やリニューアル等の成長投資を積極的に実施します。

国内ブックオフ事業においては、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」、「BOOKOFF」等の出店を実施するほか、既存店リニューアルも引き続き積極的に実施するとともに、利便性向上や安定収益継続のための戦略的なIT投資を並行して実施いたします。

プレミアムサービス事業においては、「hugall」「aidect」の新規出店を実施するとともに、「BOOKOFF総合買取窓口」・「Rehello」におけるリブランディングと収益性改善のための取組に注力いたします。

海外事業においては、「Jalan Jalan Japan」をマレーシア国へ、「BOOKOFF」をアメリカ合衆国へそれぞれ新規出店するとともに、「Jalan Jalan Japan」への商品供給量拡充のための成長投資に注力してまいります。

以上のことから、2026年5月期の連結業績予想につきましては、売上高127,000百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益3,800百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益4,000百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,200百万円（前年同期比4.7%増）を見込んでおります。

2026年5月期通期業績は、国内ブックオフ事業の既存店の伸長と、各事業における新規出店等により、売上高は伸長すると見込んでおります。国内ブックオフ事業において、再発防止に向けた取組を進めながらも、持続可能な体制構築のための事業投資を継続し、海外事業における増益等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、2025年5月期より増加する見通しです。

2025年5月期までの実績を踏まえ、2028年5月期を最終年度とする中期経営方針の目標値を経常利益5,000百万円へ上方修正いたします。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産残高は33,517百万円（前連結会計年度末は32,208百万円）となり、1,308百万円増加しました。トレーディングカード・ホビー、アパレル、ブランドバッグ等の商品仕入が増加したため在庫が増加となり、商品が905百万円増加したこと、国内ブックオフ事業等の売上が増加したことにより売掛金が491百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産残高は23,863百万円（前連結会計年度末は22,334百万円）となり、1,528百万円増加しました。投資その他の資産が49百万円減少、無形固定資産がソフトウェアの減少等により309百万円減少した一方、各事業において土地の取得、新規出店、店舗設備等へ投資を実施したこと等により有形固定資産が1,888百万円増加したことが主な要因です。

(負債)

当連結会計年度末における負債残高は38,513百万円（前連結会計年度末は34,034百万円）となり、4,478百万円増加しました。銀行借入返済により借入金が減少、特別調査費用等引当金、未払法人税等が減少した一方、社債を発行したこと、リース債務が増加したことが主な要因です。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産残高は18,867百万円（前連結会計年度末は20,507百万円）となり、1,640百万円減少しました。親会社株主に帰属する当期純利益を計上した一方、自己株式の取得と剰余金の配当を実施したことが主な要因です。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ551百万円減少し、6,628百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は3,062百万円（前連結会計年度は4,084百万円増加）となりました。これは、法人税等の支払額1,594百万円、棚卸資産の増加額909百万円等により資金が減少した一方、税金等調整前当期純利益3,490百万円、減価償却費2,201百万円等により資金が増加したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は2,510百万円（前連結会計年度は2,411百万円減少）となりました。これは、新規出店、既存店リニューアルや譲受等に伴う有形固定資産の取得による支出2,154百万円、システムへの追加投資等に伴う無形固定資産の取得による支出331百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は1,118百万円（前連結会計年度は100百万円減少）となりました。これは、社債の発行による収入4,000百万円により資金が増加した一方、自己株式の取得による支出3,230百万円、借入金の純減額741百万円、リース債務の返済による支出521百万円、配当金の支払額493百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（4）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分を経営の最重要事項の1つと認識し、内部留保については、将来の企業価値向上につながる戦略的投資と財務体質の強化に対して有効に活用してまいりたいと考えております。

また、連結純利益に対する配当性向は20～30%程度を目安に、安定した配当を継続していくことを基本方針といたします。

当期の期末配当金は、期初計画のとおり1株当たり25円とさせていただきます。

なお、次期（2026年5月期）の配当金につきましては、当期の期末配当金から5円増配し、1株当たり30円といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

（1）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,180	6,628
売掛金	3,397	3,888
商品	18,825	19,731
その他	2,803	3,268
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	32,208	33,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,573	16,858
減価償却累計額	△11,803	△12,039
建物及び構築物（純額）	4,770	4,819
土地	648	1,253
リース資産	4,483	5,568
減価償却累計額	△1,376	△1,515
リース資産（純額）	3,107	4,053
その他	3,876	4,221
減価償却累計額	△2,547	△2,605
その他（純額）	1,328	1,616
有形固定資産合計	9,854	11,742
無形固定資産		
ソフトウェア	2,186	1,989
ソフトウェア仮勘定	212	103
その他	29	25
無形固定資産合計	2,428	2,118
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 305	※1 296
繰延税金資産	2,351	2,335
差入保証金	7,311	7,286
その他	145	145
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	10,052	10,002
固定資産合計	22,334	23,863
資産合計	54,542	57,380

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 5 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	783	659
短期借入金	6,333	6,433
1 年内償還予定の社債	—	660
1 年内返済予定の長期借入金	4,483	3,027
リース債務	764	866
未払金	3,084	3,369
未払法人税等	832	562
賞与引当金	686	851
店舗等閉鎖損失引当金	24	15
特別調査費用等引当金	550	—
その他の引当金	209	203
その他	2,798	3,543
流動負債合計	20,551	20,192
固定負債		
社債	1,000	4,340
長期借入金	7,287	7,901
リース債務	2,514	3,364
資産除去債務	2,484	2,523
その他	195	191
固定負債合計	13,483	18,320
負債合計	34,034	38,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,863	6,867
利益剰余金	13,534	15,140
自己株式	△587	△3,813
株主資本合計	19,909	18,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	76
為替換算調整勘定	248	254
その他の包括利益累計額合計	326	331
非支配株主持分	271	240
純資産合計	20,507	18,867
負債純資産合計	54,542	57,380

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年 6 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日）	当連結会計年度 （自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 5 月 31 日）
売上高	111,657	119,205
売上原価	48,885	51,454
売上総利益	62,771	67,751
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	—
給料及び手当	6,301	6,881
パート・アルバイト給与	17,204	18,936
賞与引当金繰入額	687	851
退職給付費用	48	55
地代家賃	11,509	11,784
支払手数料	6,753	7,197
その他	17,214	18,595
販売費及び一般管理費合計	59,719	64,302
営業利益	3,051	3,448
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	121	121
古紙等リサイクル収入	251	272
その他	265	431
営業外収益合計	639	825
営業外費用		
支払利息	194	254
社債発行費償却	—	46
持分法による投資損失	16	10
その他	31	58
営業外費用合計	242	370
経常利益	3,448	3,903
特別利益		
固定資産売却益	1	0
移転補償金	93	—
投資有価証券売却益	17	—
特別利益合計	113	0
特別損失		
店舗等閉鎖損失	42	50
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	20	20
特別調査費用等引当金繰入額	550	—
固定資産除却損	73	46
減損損失	※ 93	※ 252
災害による損失	—	25
その他	1	18
特別損失合計	782	414
税金等調整前当期純利益	2,779	3,490
法人税、住民税及び事業税	1,213	1,282
法人税等調整額	△269	13
法人税等合計	943	1,296
当期純利益	1,835	2,194
非支配株主に帰属する当期純利益	130	93
親会社株主に帰属する当期純利益	1,705	2,101

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）	当連結会計年度 （自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）
当期純利益	1,835	2,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	3
為替換算調整勘定	152	14
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△5
その他の包括利益合計	※ 173	※ 12
包括利益	2,009	2,206
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	1,864	2,105
非支配株主に係る包括利益	145	100

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	6,860	12,322	△591	18,691
当期変動額					
剰余金の配当			△494		△494
親会社株主に帰属する当期純利益			1,705		1,705
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		2		4	7
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	2	1,211	4	1,218
当期末残高	100	6,863	13,534	△587	19,909

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	57	109	167	198	19,057
当期変動額					
剰余金の配当					△494
親会社株主に帰属する当期純利益					1,705
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					7
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21	138	159	72	231
当期変動額合計	21	138	159	72	1,450
当期末残高	78	248	326	271	20,507

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	6,863	13,534	△587	19,909
当期変動額					
剰余金の配当			△494		△494
親会社株主に帰属する当期純利益			2,101		2,101
自己株式の取得				△3,230	△3,230
自己株式の処分		4		4	8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	4	1,606	△3,225	△1,614
当期末残高	100	6,867	15,140	△3,813	18,295

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	78	248	326	271	20,507
当期変動額					
剰余金の配当					△494
親会社株主に帰属する当期純利益					2,101
自己株式の取得					△3,230
自己株式の処分					8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1	6	4	△30	△26
当期変動額合計	△1	6	4	△30	△1,640
当期末残高	76	254	331	240	18,867

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 6 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 5 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,779	3,490
減価償却費	1,860	2,201
減損損失	93	252
のれん償却額	40	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42	164
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	—
店舗等閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	34	△9
その他の引当金の増減額 (△は減少)	19	△5
支払利息	194	254
持分法による投資損益 (△は益)	16	10
店舗等閉鎖損失	42	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17	—
固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	73	46
移転補償金	△93	—
災害による損失	—	25
売上債権の増減額 (△は増加)	△388	△491
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,136	△909
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32	△124
その他	1,132	497
小計	4,662	5,457
利息及び配当金の受取額	5	20
利息の支払額	△175	△243
移転補償金の受取額	93	—
特別調査費用等の支払額	—	△568
災害損失の支払額	—	△25
法人税等の支払額	△735	△1,594
法人税等の還付額	233	16
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,084	3,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,732	△2,154
無形固定資産の取得による支出	△433	△331
差入保証金の差入による支出	△274	△304
差入保証金の回収による収入	225	327
店舗譲受による支出	△52	—
その他	△144	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,411	△2,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	100
長期借入れによる収入	4,700	3,700
長期借入金の返済による支出	△3,617	△4,541
社債の発行による収入	—	4,000
リース債務の返済による支出	△566	△521
自己株式の取得による支出	△0	△3,230
配当金の支払額	△494	△493
非支配株主への配当金の支払額	△97	△131
非支配株主からの払込による収入	24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100	△1,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,636	△551
現金及び現金同等物の期首残高	5,544	7,180
現金及び現金同等物の期末残高	7,180	6,628

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項に関する注記）

１．連結の範囲に関する事項

（１）連結子会社の数 13社

主要な連結子会社の名称

ブックオフコーポレーション(株)

(株)ブックオフウィズ

(株)ブックレット

BOK MARKETING SDN. BHD.

（２）主要な非連結子会社の名称等

該当事項はありません。

２．持分法の適用に関する事項

（１）持分法を適用した関連会社の数 1社

持分法適用の関連会社名

(株)BOSパートナーズ

（２）持分法を適用していない主要な非連結子会社及び関連会社の名称等

該当事項はありません。

３．連結子会社の事業年度等に関する事項

(株)ブックオフウィズ、(株)ブックレット、BOOKOFF U. S. A. INC. 及びその連結子会社であるBOOKOFF NEW YORK LLCの決算日は２月末日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生したグループ間の重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

ビーアシスト(株)、(株)ブックログの決算日は３月末日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生したグループ間の重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

BOK MARKETING SDN. BHD. の決算日は９月末日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、３月末日に仮決算を実施しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

J&K TRADING LLCの決算日は12月末日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、３月末日に仮決算を実施しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

なお、上記以外は、最近の有価証券報告書（2024年10月22日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(連結貸借対照表に関する注記)

※1 関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当連結会計年度 (2025年5月31日)
投資有価証券(株式)	69百万円	53百万円

2 当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行11行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当連結会計年度 (2025年5月31日)
当座貸越極度額の総額	11,850百万円	11,990百万円
借入実行残高	6,250	6,330
差引額	5,600	5,660

(連結損益計算書に関する注記)

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

セグメント	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
国内ブックオフ事業	店舗	建物及び構築物等	BOOKOFF 名古屋平針店 (名古屋市天白区) ほか11店舗	93

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

セグメント	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
国内ブックオフ事業	店舗	建物及び構築物等	BOOKOFF DCM上磯店 (北海道北斗市) ほか23店舗	233
プレミアムサービス事業	店舗	建物及び構築物等	hugall 大丸福岡天神店 (福岡市中央区) ほか3店舗	8
その他	その他	ソフトウェア	(株)ブクログ本部 (東京都渋谷区)	10

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

（連結包括利益計算書に関する注記）

※ その他の包括利益に係る組替調整額並びに法人税等及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	49百万円	7百万円
組替調整額	△17	—
法人税等及び税効果調整前	31	7
法人税等及び税効果額	△10	△3
その他有価証券評価差額金	20	3
為替換算調整勘定：		
当期発生額	152	14
組替調整額	—	—
法人税等及び税効果調整前	152	14
法人税等及び税効果額	—	—
為替換算調整勘定	152	14
持分法適用会社に対する持分相当額：		
当期発生額	0	△5
組替調整額	—	—
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△5
その他の包括利益合計	173	12

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「事業活動を通じての社会への貢献」、「全従業員の物心両面の幸福の追求」を経営理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

当社は「国内ブックオフ事業」、「プレミアムサービス事業」及び「海外事業」の3つを報告セグメントとしております。

「国内ブックオフ事業」は、「BOOKOFF」を中心に様々なリユース商材を集めた大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」にアパレル商材を複合させた「BOOKOFF PLUS」の運営を行っており、書籍・ソフトメディア等の他、家電商品、アパレル、トレーディングカード、ホビー商材、スポーツ用品、ベビー用品、腕時計・ブランドバッグ・貴金属、食器・雑貨等の買取及び販売を行っております。

また、インターネット上で書籍・ソフトメディア等のリユースショップ「BOOKOFF公式オンラインストア」の運営等を行っております。

「プレミアムサービス事業」は、大手百貨店に設置した買取窓口「hugall」、ジュエリーの修理・リフォーム・サステナブルジュエリー販売等の専門店「aidect」、ブランド品販売及び買取等を行う「BOOKOFF総合買取窓口」及び「Rehello」の店舗運営等を行っております。

「海外事業」は、アメリカ合衆国において、「BOOKOFF」を展開するほか、マレーシア国において、「Jalan Jalan Japan」を展開し、カザフスタン共和国において、アパレル等のリユース製品の輸出入及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	99,036	6,750	4,668	110,455	1,201	111,657	—	111,657
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	99,036	6,750	4,668	110,455	1,201	111,657	—	111,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	0	—	31	656	687	△687	—
計	99,067	6,750	4,668	110,486	1,857	112,344	△687	111,657
セグメント利益又は セグメント損失（△）	4,503	420	724	5,647	△175	5,472	△2,023	3,448
セグメント資産	42,830	2,450	4,387	49,668	946	50,615	3,927	54,542
その他の項目								
減価償却費	1,551	51	235	1,837	12	1,849	11	1,860
のれんの償却額	40	—	—	40	—	40	—	40
受取利息	10	0	0	10	3	13	△5	8
支払利息	43	0	33	77	0	77	117	194
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,785	69	197	2,052	26	2,079	9	2,088

- (注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△2,023百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント資産の調整額3,927百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	104,309	7,177	6,176	117,663	1,542	119,205	—	119,205
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	104,309	7,177	6,176	117,663	1,542	119,205	—	119,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	0	—	41	805	847	△847	—
計	104,350	7,177	6,176	117,704	2,348	120,053	△847	119,205
セグメント利益又は セグメント損失（△）	5,347	44	694	6,086	△259	5,827	△1,923	3,903
セグメント資産	45,295	1,978	5,936	53,210	1,130	54,341	3,038	57,380
その他の項目								
減価償却費	1,746	62	356	2,165	20	2,186	15	2,201
のれんの償却額	3	—	—	3	—	3	—	3
受取利息	9	0	8	18	3	22	△2	19
支払利息	35	0	54	90	0	91	163	254
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,995	104	430	2,530	43	2,574	2	2,577

- (注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△1,923百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント資産の調整額3,038百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	マレーシア	合計
7,422	1,626	805	9,854

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	マレーシア	その他	合計
7,859	2,498	1,084	299	11,742

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

（単位：百万円）

	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス事業	海外事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	93	－	－	－	－	93

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

（単位：百万円）

	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス事業	海外事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	233	8	－	10	－	252

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 （自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）	当連結会計年度 （自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）
1株当たり純資産額	1,023円60銭	1,061円56銭
1株当たり当期純利益金額	86円26銭	108円54銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	－	－

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）	当連結会計年度 （自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円） 金額	1,705	2,101
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（百万円）	1,705	2,101
普通株式の期中平均株式数（千株）	19,767	19,357

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。